

ワーキングホリデー・ビザで滞在される皆様へ

～安全な滞在のための注意～

ワーキングホリデー・ビザで滞在される方々が巻き込まれる事件や事故が増えています。

強盗・詐欺

- 夜中に一人で歩いていたら、暴漢に襲われ、財布・バックを強奪された。
- 仲良くなった異性にクレジットカードを預けたら、現金を引き出された。
- 現地の人から中古車の購入を持ちかけられ、現金を支払ったものの、車が来ない。

麻薬

- 現地で仲良くなった人から大麻をもらい吸引。大麻不法所持で逮捕された。
- ワーキングホリデーの仲間同士で麻薬を常用していたところ、家宅捜索を受け逮捕された。

交通事故

- 高速道路を走行中、運転操作を誤り対向車と衝突。対向車を運転していた人を死亡させた。
- レンタカーを運転中、カーブを曲がり損ね、崖下に転落し死亡した。

窃盗

- ワーキングホリデー参加者がよく利用する「バックパッカーズ」や「ユースホテル」で就寝中、外出中にバックを盗まれた。
- 自動車内に入れてあった貴重品を盗まれた。
- レストランやバーで席を離れたスキに置き引きにあった。

こんなトラブルも……

ビザに関するトラブル

- ワーキングホリデー・ビザから他のビザへの変更が認められずにそのまま不法滞在になってしまった。
- ワーキングホリデーで滞在后、観光ビザで再入国し不法就労していた。

所在不明に関するトラブル

- 何日も日本の家族に連絡がなく、家族から総領事館に安否確認のための照会があったが、「在留届」を出していなかったために、所在確認ができなかった。

危険から身を守るために……

- 宿泊先では、身の回りの貴重品から目を離さない
- トランクの中も含め、車中に貴重品を残さない
- 危険な場所、夜間の一人歩きは避ける
- 自動車の運転は極力控える。運転の際には細心の注意を払う
- 麻薬には絶対に手を出さない
- 滞在先が決まったら、すぐに「在留届」を総領事館に提出する
- 滞在中は、「自分の身は自分で守る」という心構えを忘れない！



西オーストラリア州での安全に関する最新情報は当館ホームページをご覧ください。

在パース日本国総領事館 ホームページ: http://www.perth.au.emb-japan.go.jp/index_j.htm

総領事館に寄せられる相談にこんなものがあります

民事契約トラブル

「民事契約」って言われても、何の事？と思う方が多いと思います。
こんな話を聞いた事はありませんか？「滞在先を移ろうと家主に申し出たものの、ボンドが帰ってこない」「〇〇コースを申し込んで全額払ったのに、『生徒が集まらないから』と先方から一方的にキャンセルされた。だけど、前金で支払ったお金が戻ってこない」・・・など。

☆ 原因をチェック！

- 友達やその友達だから・・・との理由で、口約束だけで契約を済ませていませんか。
- 契約内容をちゃんと理解せず、不明な点を残したまま契約書にサインをしていませんか。
- 契約した際に、ちゃんと契約書や領収書をもらいましたか。



★ 対処法

- 現金が絡む契約には必ず契約書、領収書を取りましょう。先方が領収書はないと言って発行を躊躇した場合には、自分のメモ帳でも構いません。日付と金額を記入し、その余白にサインをしてもらいましょう。
- 契約書に一度サインをしたら契約は成立。後で、「実は英語が解らなかった」という言い訳は通用しません。契約書に少しでも不明な点があれば相手に確認しましょう。納得した上でサインをして下さい。
- 直接交渉が難しい場合には、弁護士や英語ができる人と一緒に、または、仲介に入ってもらい解決に向けて努力して下さい。

レンタカー関連のトラブル

こんな相談をよく受けます。「友人と車を借りて旅行先で自損事故を起こしました。車を借りる時には、当時クレジットカードを持っていたAの名前を運転予定者で登録、契約しましたが、事故当時運転していたのはB。車は大破しレンタカー会社から1万ドルの請求が来ました。どうしたらよいでしょう。」

☆ 原因をチェック！

- 自分の運転を過信していませんか。
- 事前に、この旅行で誰が運転するかを決めていましたか。
- 契約書には運転予定者全ての氏名を記入してありましたか。
- 契約する際に、契約内容をちゃんと理解せず、不明な点を残したまま契約書にサインをしていませんか。



★ 対処法

- いくら日本での運転経験が豊富と言ってもここは海外。やはり勝手が違います。道幅も広いので、ついついスピードを出しすぎる傾向もあり、それが事故につながることも少なくありません。自分の能力を決して過信しないで下さい。
- レンタカー会社では、契約書に運転予定者を全て記入することになっています。それ以外の人が運転し事故が起きた場合、大抵保険はカバーされません。
- 料金が多少高くなりますが、「Full Insurance(全ての損害がカバーされる保険)」を契約時に選択しましょう。
- 契約書には、多くの事が書かれています。英文ですので、その場で理解するのは大変かもしれませんが、焦らず落ち着いて理解するように努めてください。
- 特に、事故が起きたとき、運転者、事故の場所によっては保険がカバーされない事もありますので、少しでも解らない点があれば契約する前に確認しましょう。